

# 無痛分娩について

## 無痛分娩とは

- ・当院は通常分娩と併せて陣痛の痛みを和らげる方法として、無痛分娩を実施しています。無痛分娩とは麻酔薬を用いて陣痛の痛みを和らげる方法です。当院では「硬膜外鎮痛法」といわれる下半身の痛みだけを取る方法です。

## ★対応可能時間

- ・平日8時30分～16時30分  
平日夜間、土日・祝日は麻酔開始を行えません。
- ・3-5cmの子宮口開大が認められ、除痛を希望するほどの痛みを感じるタイミングで麻酔科医が硬膜外麻酔の導入を行います。

## ★無痛分娩の適応

下記禁忌項目がない限り、多くの妊婦さんの希望が適応となります。

- ・妊娠36週末満
- ・帝王切開を予定されている
- ・血が固まりにくい因子がある
- ・その他、無痛分娩が好ましくないと判断される方など

## ★Schedule

32週6日まで

当院に受診。無痛分娩希望を医師・助産師にお伝えください。



34～36週

無痛外来受診し同意書のご提出

## 初産婦の場合

基本的に計画分娩は行いません。  
分娩予定日超過・医学的に早く分娩を済ませた方がよい病態（妊娠高血圧症候群など）などの場合は、誘発分娩を行います。

## 経産婦の場合

37週から内診し、子宮口の状態が整っていれば、計画分娩となります。確実に無痛分娩を行うことができますようになります。

3-5cm子宮口が開き、痛みがついてきたら  
カテーテル挿入、麻酔開始

分娩まで数日かかることもあります。



## ★無痛分娩のメリット

- 痛みが少ないお産をすることができます。
- 産後の疲労を軽減することができます。
- 脳の血管、心臓に病気がある場合、医師が無痛分娩を勧めることもあります。
- お母さんの血圧が高いとき（妊娠高血圧症候群）も無痛分娩を勧めることがあります。

## ★無痛分娩のデメリット

- 分娩時間の延長、微弱陣痛による分娩遷延
- 陣痛促進剤、吸引分娩などのサポートが必要なことが多くなる。

\*帝王切開になる頻度は普通のお産と変わりません

\*赤ちゃんへの影響、授乳への影響はありません

## ★麻酔の合併症・副作用

- 低血圧
- カテーテルの入れ直し
- 尿意の消失
- 足の感覚が鈍くなる
- 局所麻酔中毒
- 全脊椎クモ膜下麻酔など

## ★無痛分娩の費用：8万円

通常分娩費用に上記金額が加算されます。

無痛外来・入院前検査(血液検査、Xp、心電図)も別途自費となります。

無痛分娩のための麻酔を開始した後に、帝王切開での分娩となった場合でも費用の8万円がかかります。



何かありましたらお問い合わせください。  
市立釧路総合病院 産科外来  
0154-41-6121(代表)